

今週のトピックス

税務・会計

中途就職者の年末調整

年の中途で入社してきた社員の年末調整で注意が必要なのは住宅ローン控除に係るものです。

住宅ローン控除は最初の年分については年末調整ではなく確定申告で控除を受けます。それ以降の年分についてはその社員が年末調整の際に「給与所得者の住宅借入金等特別控除申告書」を会社に提出すれば控除を受けられます。

しかし中途就職者の場合、申告書の提出先が以前と変わっているため住所地の所轄税務署に控除証明書の交付を受けてこれを年末調整の際に住宅借入金等特別控除申告書に添付する必要があります。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアは無形固定資産に該当し、ソフトウェアを購入し自社使用する場合は耐用年数5年で償却することになります。

ソフトウェアは何度もバージョンアップをして使用することが多いですが、バージョンアップする際の支出は、不具合の修正など現状の効用を維持するためのものなら修繕費、機能が向上・追加される場合のものは資本的支出になります。なお、パソコン購入時に既にインストールされている基本ソフトはパソコンの本体に含めて償却することができます。

経営

「生き残りをかけたロジスティクスIT戦略」セミナー

昨今ではロジスティクスの有り方が企業の成長と生き残りを握る鍵といわれるようになってきました。IT（情報技術）はロジスティクス戦略を具体的に実現する手段でもあります。当セミナーではITによるロジスティクス戦略を事例を交えてその系口について紹介します。

11月13日(火)14時より。無料。

お問合せ：共栄情報システム㈱

TEL：03（3732）6001

人・もの・カネ

変動金利型定期預金再開

みずほ銀行は変動金利型定期預金の取り扱いを11月5日から再開すると発表しました。

変動金利型定期預金は6カ月ごとに、その時点での6カ月物固定金利型の定期預金の金利に一定の上乗せをした利率を適用するものですが、日銀の超低金利政策のもとでは変動金利型定期預金は預金者にほとんどメリットがなかったため、メガバンクでは2000年前後に相次いで新規取り扱いを停止していましたが、ゼロ金利政策の解除後は金利上昇を見込む顧客が増えてきたためみずほ銀行ではメガバンクとして初めて再開を決めました。

ニュースな日々

一人乗り車

トヨタ自動車では2020年を目標に「一人乗り次世代交通手段」を商品化する方針を明らかにしました。この一人乗り次世代交通手段は現在開催中の東京モーターショーで試作車が公開されています。試作車は電動の三輪。両手で操作し、速度は「歩行モード」と「走行モード」が選択でき、センサーで人の接近を感知しながら衝突を防止し歩行者の中に溶け込んで走行できるというものです。トヨタ自動車では遊園地や大型ショッピングセンターでの実用化を狙っています。

おすすめのスポーツ

アジアシリーズ 2007

野球のアジアナンバーワンを決めるアジアシリーズ 2007が11月8日から開催されます。過去のアジアシリーズでは千葉ロッテ、日本ハムといずれも日本代表のチームが全勝優勝しています。今年は53年ぶりに日本一に輝いた中日が日本勢3連覇を果たすのか。韓国、台湾、中国がこれを阻むのか。特に過去一勝もしていない中国は来年の北京五輪を見据えた強化を行ってきており悲願の一勝を目指しています。

蒲田行進曲

原油価格の高騰に伴い、ガソリンだけでなくプラスチックや合成繊維などの石油化学製品の値上げが相次ぎそのうちにこれが日用品に価格転嫁されていくと我々の財布を直撃します。「もったいない」の精神で消費を減らしましょう。

三尾会計事務所
東京都大田区西蒲田6-37-11
TEL: 03-3730-7231
FAX: 03-3730-7233
Info@mionet.co.jp
<http://www.miocci.com>